

第8回研究発表会 口頭発表『 加法混色によるカラーデザイン学習の研究 その1 』

Design Unit PDS (光武智子, 合原勝之, 吉澤陽介)

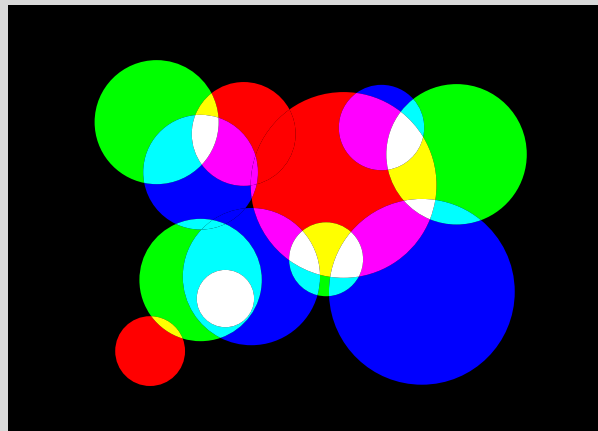
○ 研究の背景とねらい

近年、グラフィックデザインの表現メディアは、携帯電話やタブレット端末などの電子メディアに拡大している。これらの電子メディアの色彩表示は、光の三原色であるRGBモデルが使用される。ここでは、色光の「輝度」に注目して、RGB加法混色による新たな色彩実習を提案する。

○ 4段階の実習プロセス

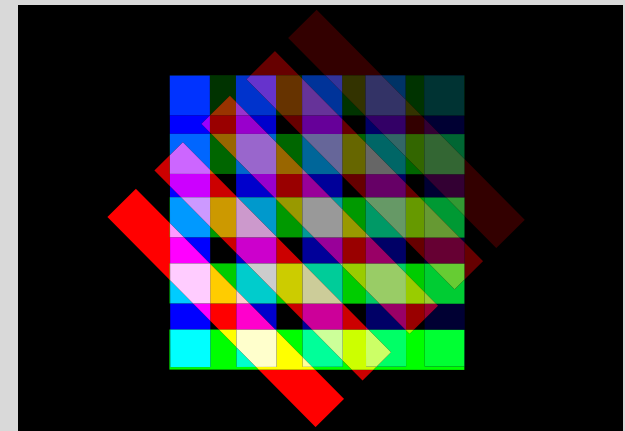
- 実習 1 : 実際の色光による混色確認
- 実習 2 : 輝度100%による色彩構成
- 実習 3 : 輝度5段階による色彩構成
- 実習 4 : 実習3の応用による自由な構成

実習2 : RGB基本色による色彩構成



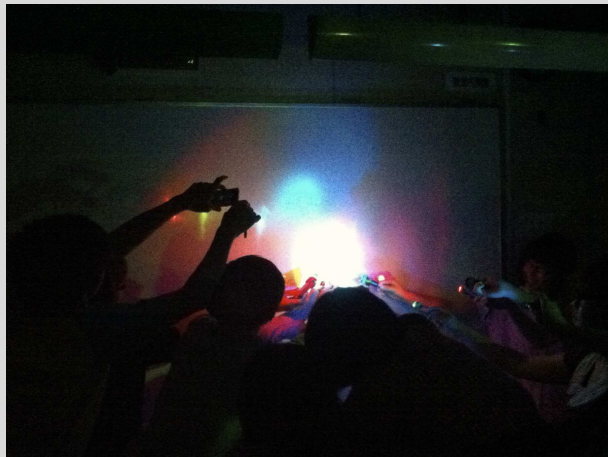
RGB各色の輝度100%として構成

実習3 : RGBグラデーションによる色彩構成



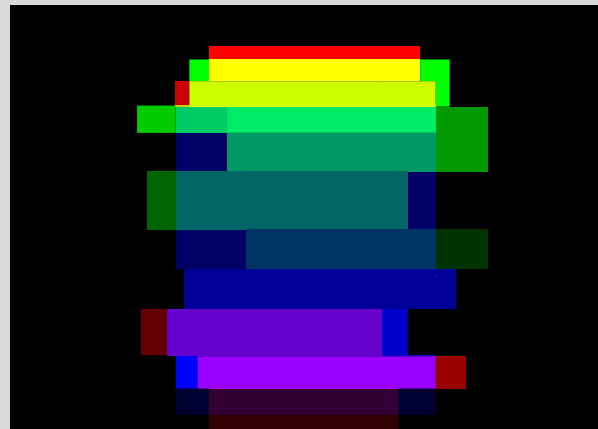
RGB各色の輝度5階調として構成

実習1 : 実際の色光による混色の確認



懐中電灯にRGB各色のフィルムを被せて、色光をホワイトボードに投影し、RGB混色を確認

実習4 : 実習3の応用による色彩構成 (その1)



実習4 : 実習3の応用による色彩構成 (その2)

